

国際②「国際社会の諸課題」

国際社会の諸課題 C

7分

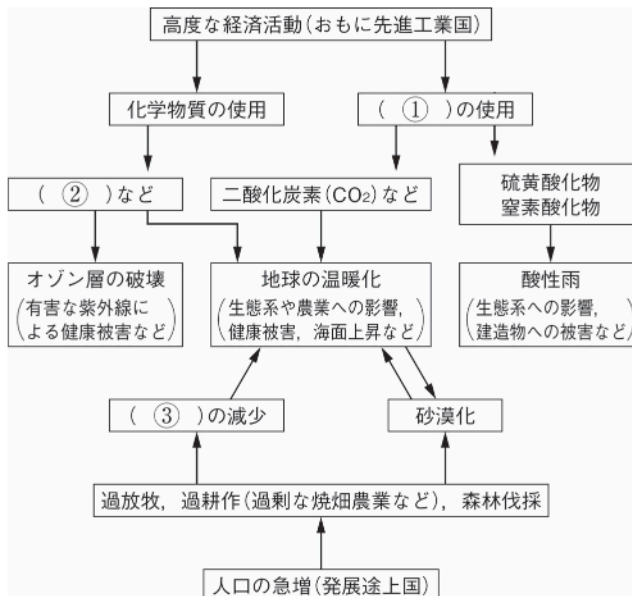
1. 環境問題とその対策について、次の問いに答えなさい。

(1) 右の図は、地球環境をめぐる問題と、その主な原因についてまとめたものである。図中の()にあてはまる語句を、次のヒントを参考にして答えなさい。

① 地下深くに埋まった大昔の動植物の死骸が変化してできた、燃料として使える物質。

[1]

② 冷蔵庫やクーラーなどに使われている人工的な物質。



[2]

③ 東南アジアや南アメリカなどの降水量の多いところに広がる樹林帯。

[3]

(2) 次の文章は、安全保障の観点が世界的に変化してきたようすについて説明したものである。文章中のaにあてはまる語句を答えなさい。また、bから正しい略称を選び、記号で答えなさい。

軍事的な脅威から人間を守るだけでなく、人間一人ひとりに着目し、生存・生活・尊厳に対する深刻な脅威から人間を守り、それぞれのもつ豊かな可能性を実現するために、個人の自立と社会づくりをうながす考え方を(a)という。国際社会において、この考え方を初めて公に取り上げたのは、1994年の国連開発計画b(ア UNCTAD イ UNDP)の「人間開発報告書」であった。

a	[4]	b	[5]
---	-----	---	-----

次ページにつづく

2. 次の会話文を読んで、あとの問いに答えなさい。

生徒1：a国際社会の中で、グローバル化という、世界を一体化する動きが進んでいますね。今では、インターネットを使うと世界各地とすぐにやりとりができ、いろいろな情報を即座に得ることができます。

先生：そうですね。経済の分野では、株式や各国のb通貨が、世界で瞬時に取り引きされるようになっています。また、世界各地に工場をつくったり、販売網を形成したりして発展する企業も増えてきました。

生徒2：一方で、世界には先進工業国と発展途上国の経済格差からくる諸問題が横たわっていますし、近年は発展途上国同士の間でも同様の問題が起きていると授業で習いました。

先生：経済問題に限らず、c地域紛争に関する問題など、国際問題の中身はさまざまです。これらの問題は一国だけでは解決できませんから、グローバル化が進む今、d国際社会での各国の協力がますます重要になってきているのですね。

- (1) 下線 a に関して、国際社会のルールである国際法のうち、主権国家や国際機関の間で結ばれる、文書の形で交わした約束を何というか。

[6]

- (2) 下線 b について、次の問いに答えなさい。

- ① ① ^{いっぽん}一般に、通貨は国ごとに異なるものが用いられているが、ヨーロッパの多くの国々では、ある地域機構の主導で、共通の通貨が用いられている。この地域機構の名前を答えなさい。

[7]

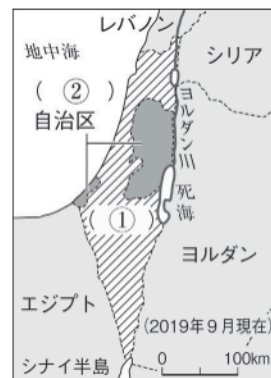
- ② ①の地域機構について説明した文として最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア この地域機構の前身にあたる地域統合は、第一次世界大戦後に平和の実現を目指して誕生した。
- イ 加盟各国のものとは別に、この地域機構の憲法や議会などが存在する。
- ウ この地域機構の政策は経済に関するものが中心で、外交や安全保障には基本的に ^{かんよ}関与していない。
- エ 新たに加盟を希望する国が多く、アジアやアフリカ、アメリカの諸国とも加盟交 ^{こう}渉 ^{しやう}を行っている。

[8]

- (3) 下線 c に関して、次の文章と右の地図は、中東で長年にわたり続いている、ある地域紛争について説明したものである。文章中と地図中の () にあてはまる語句を、それぞれあとから1つずつ選び、記号で答えなさい。なお、同じ記号の () には同じ語句が入る。

第一次世界大戦中にイギリスが行った矛盾した政策がきっかけとなって、1948年に約2000年ぶりに祖先の地にもどって(①)という国を建国したユダヤ人と、それまでこの地に住んでいたアラブ系の(②)人の中で、激しい対立が起こった。周辺国をまきこんだ4度の戦争を経て、現在は2か所の(②)自治区が設定されているものの、今も、(①)と(②)人の武力を交えた対立に、終わりが見えない状態が続いている。



- ア イスラエル イ エルサレム ウ コソボ
エ パレスチナ オ アラファト カ ラビン

①	[9]	②	[10]
---	-----	---	------

- (4) 下線 c に関して、国際連合で地域紛争の問題などを担当する安全保障理事会の理事国の一部は、自分の国が反対することで、理事会での決議自体をできなくする特権を持っている。この特権を何というか。また、この特権をもっている理事国は全部でいくつあるか。

特権の名前	[11]	特権をもつ理事国の数	か国 [12]
-------	------	------------	---------

- (5) 下線 d に関して、1992年、世界各国の代表者などがブラジルのリオデジャネイロに集まって、地球規模の環境問題^{かんきょう}などへの対策を話し合う会議を開き、リオ宣言とよばれる宣言^{さいたく}が採択された。この会議の名前を答えなさい。

[13]
